

週替わりで一息!!

第2064第75版)

今回の二十四節気・七十二候 (にじゅうしせつきしちじゅうにこう)

小寒(しょうかん) 「寒さが最も厳しくなる前の時期。『暦便覧』では、「冬至より一陽起こる故に陽気に逆らふ故、益々冷える也」と。この日を「寒の入」といわれ、これから更に寒さが厳しくなる頃。小寒から節分までの三十日間のことを「寒の内」といいます。寒さが明けると立春になります。この日から寒中見舞いを出し始めます。

和暦コラム歴生活・ぴお・ウィキペディアより

初候「一月五～一月九日」芹乃栄(せりすなわちさかう) 67

「芹がよく生育する」 芹が生え始める頃。冷たい水辺で育ちます。一箇所から競り合って生えていることから、芹(セリ)という名前になりました。せりとは、七種(ななくさ)粥の具になる野菜です。日本では昔から、正月の7日には、万病を除くとされることから七種粥を食べる風習があります。七草は、せり、なずな、ごぎょう(おぎょう=母子草)、はこべら(はこべ)、ほとけのざ(こおにたらびこ)、すずな(かぶ)、すずしろ(だいこん)を言います。

68

次候「一月十～一月十四日」水泉動(すいせんうごく(しみずあたたかをふくむ)) 「**地中で凍った泉が動き始める**」地中で凍った泉の水が溶け、動き始める頃。まだまだ空気は冷たく、寒い時期ですが、春に向けて少しずつ動き出しています。この候にいう水泉とは、湧きいでる泉のことをいいます。

20年前の主なニュース (1997年1月6日～1997年1月12日 福井新聞縮刷版より)
・ナホトカ号重油流出事故。暖房用のC重油を積み、上海を出港、ペトロパブロフスクへ航行中島根県近海で浸水により沈没し、船首は漂流。

「本日12月22日の金曜日」「2016-17年度 上半期の総括」上半期の事業内容を写真で紹介



■「2016-17年度上半期における事業内容を7月～12月までを順に写真で報告「広報イメージ委員会」
ロータリーカップ・三国高校模擬面接・セイタカアワダチソウ駆除事業・41周年創立記念例会・ガバナー公式訪問■



100%出席者表彰 26年
あつという間の日々でした

上半期最後の例会で
会長挨拶下半期へ向けて

四つのテストはこの方
いつも笑顔ポーズです

今日の一枚」
週報裏面を観てます